

アラハダカ (ハダカイワシ科) が和歌山県白浜町に所在する 京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” で 11 月に漂着

久保田 信*・東海林 明**・中坊 徹次***

Shin KUBOTA, Akira TOKAIRIN and Tetsuji NAKABO: *Myctophum asperum* (Myctophidae)
casted ashore on “Kitahama beach” of the Seto Marine Biological Laboratory,
Kyoto University, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan in November

はじめに

全世界の外洋の水深 200 m 以深に生息するハダカイワシ類の一種アラハダカ *Myctophum asperum* RICHARDSON は、日本列島では北海道から土佐湾の太平洋の沖合に分布する (中坊・甲斐, 2013)。本種が和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” へ過去 3 年間連続して定期的に春に漂着していたが (久保田ほか, 2011, 2012), 今回、初めて秋に漂着したので報告する。

記 録

少なくともこの 3 年間、久保田はほぼ毎日、“北浜” で漂着物調査を実施しているが、2010 年以來、毎年 4 月下旬から 5 月上旬にかけて “北浜” にアラハダカが定期的に漂着した (久保田ほか, 2011, 2012)。ところが、今回、11 月初旬というこれまでと半年も異なる時期に本種が漂着した。2012 年 11 月 5 日午前 7 時頃に漂着した個体は、標準体長 57.8 mm であった (図 1: FAKU 200181, 京都大学総合博物館保管, 久保田 信採集)。この個体は、死亡後まもない状態での打上、ほとんど体のどこも傷んでいなかった。しかし、白浜町で過去に記録された 4 個体 (標準体長 72-78 mm) と比べると、約 20 mm 小さかった (表 1)。2012 年に初めて遭遇したように、一年に二度、半年ごとに本種の漂着が今後おこるのか継続調査が望まれる。

引用文献

久保田 信・武藤望生・東海林 明・中坊徹次: 2011.
アラハダカ *Myctophum asperum* (ハダカイワシ科) の和歌山県白浜町京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” への漂着. 南紀生物, 53 (2), 123.

———・新橋一仁・東海林 明・武藤望生・中坊徹次.
2012: アラハダカ *Myctophum asperum* (ハダカイワシ科) が和歌山県白浜町京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” と市原海岸へ漂着. 瀬戸臨海実験所年報, 25, 40-41.
中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013: ハダカイワシ科, 446-473, 1859-1864. in 中坊徹次編, 日本産魚類検索全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 東京.



図 1 京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” へ 2012 年 11 月 5 日に漂着したアラハダカ *Myctophum asperum* (FAKU 200181)

表 1 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所 “北浜” と白浜町市原海岸へこれまでに漂着したアラハダカ *Myctophum asperum*

漂着年月日	標準体長 (mm)	京都大学総合博物館保管 標本番号(FAKU)	引用文献
実験所 “北浜”			
2010 年 5 月 4 日	72.0	98927	久保田ほか, 2011
2011 年 4 月 27 日	71.9	98296	久保田ほか, 2011
2012 年 5 月 11 日	74.7	99729	久保田ほか, 2012
2012 年 11 月 5 日	57.8	200181	本研究
市原海岸			
1996 年 5 月 4 日	77.4	99730	久保田ほか, 2012

* 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
Email: kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp
** 〒 606-8501 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院農学研究科
*** 〒 606-8501 京都市左京区吉田本町京都大学総合博物館